

協議・調整事項（1）

児童・生徒の学力について

持続可能な豊後高田市の教育をめざして

～全国学力・学習状況調査をもとにして～



学力向上支援教員公開授業

本市においては、毎年、全国学力・学習状況調査及び大分県学力定着状況調査の結果を分析したうえで改善策を講じています。

この資料は、平成29年4月18日（火）に実施した全国学力・学習状況調査の結果をもとにしたものです。

1. 全国学力・学習状況調査の質問紙から（小学校）
伸ばそう！高田っ子の学力と豊かな心
2. 小学校 国語科・算数科の分析と今後の方策
3. 全国学力・学習状況調査の質問紙から（中学校）
伸ばそう！高田っ子の学力と豊かな心
4. 中学校 国語科・数学科の分析と今後の方策
5. 豊後高田市の学力向上に関する改善策
豊後高田方式の本時案

伸ばそう！高田っ子の学力と豊かな心

豊後高田市教育委員会 平成29年9月

この調査は、全国の子どもたち (小・中学校児童生徒) の学力や学習状況を把握・分析し、これまでの教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、教育に関する継続的な検証サイクルを確立するためのものです。また、学校における子どもたちへの教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる基礎データとするものです。その調査の概要と結果、そして今後の方策をお知らせします。



《調査の概要》 ◆調査期日 平成29年4月18日 (火) ◆調査対象 小学校6年生

◆調査内容 (1) 教科に関する調査 小学校6年生 国語、算数

(2) 問題内容 主として「知識」に関する問題及び主として「活用」に関する問題

◆質問紙調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

豊後高田の子どもたちのすばらしいところ！ (質問紙調査結果より)

質問紙調査により、豊後高田市の子どもたちは、次の項目で肯定的な回答をした割合が全国より高くすばらしいところがあります。(肯定率とは、「とてもそう思う」と「まあまあそう思う」をたし合わせた数です。)

- 10) 将来の夢や目標を持っています。(市肯定率91.5%、全国85.9%)
- 38) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。(市90.8%、全国86%)
- 56) 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う。(市90.1%、全国84.7%)
- 65) 地域のことを調べたり、地域の人と関わったりしている。(市81.6%、全国70.2%)
- 69) 国語の勉強が好きです。(市71%、全国60.5%)

※このデータは子どものアンケート結果ですので、あくまで傾向ととらえてください。

学力や「豊かな心」を育むもの



自己認識、社会性、生活・学習習慣、好きな教科等は、学力や豊かな心の育成にも大きく関係があります。いいところを伸ばし、悪いところは改善して、健やかに育みたいと考えています。

□内の項目はいいところです。※斜線部は改善したいところです。

《自己認識》

- 6) 自分には、よいところがあると思う。
- 24) 家の人と学校の出来事について話しをする。
- 52) いじめは、どんな理由があってもいけないと思う。
- 4) ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。

《社会性》

- 7) 友達の前で自分の考えや意見を発表する。
- 40) 今住んでいる地域の行事に参加している。
- 42) ボランティア活動に参加している。
- 9) 友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持てる。

《生活・学習習慣》

- 2・3) 毎日、同じくらいの時刻に寝る・起きる。
- 5) 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する。
- 32) 家で、学校の授業の復習をしている。
- 31) 家で、学校の授業の予習をしている。

《学習活動》

- 69) 国語の勉強が好きです。
- 71) 国語の授業の内容はよく分かります。
- 78) 算数の勉強が好きです。
- 63) ノートに、学習の目標 (めあて・ねらい) とまとめを書いている。

子どもを健やかに育むためには、子どもの自尊感情や社会性を育むことが大切です。

その上で、自分の夢を描き (目的を持ち)、夢に向かって努力する (勉強したり、練習したりする活動) ことによって自己実現 (夢がかなえられる) が図られます。

また努力するにしても、国語・算数といった教科学力、教室内で遠慮なく発言する力、伸びようとする向上心は必要であり、確実に身につけさせなければなりません。

幸いなことに、豊後高田市の子どもたちには素晴らしいところがたくさんあります。いいところを伸ばし、悪いところは改善させるようにして、自己実現の支援をしていただきたいと思います。

2 - (1) 平成29年度全国学力・学習状況調査

小学校 国語

豊後高田市教育委員会 平成29年9月

全国学力・学習状況調査の問題は、国立教育政策研究所ホームページで公表されており、詳しい問題はそちらのホームページでご参照願います。

《調査の結果》正答率で比較しました。

豊後高田市の子どもたちのできているところ

内容	豊後高田市	大分県	全国	評価
1. 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。	83.6	80.4	79.7	○
2. 俳句の情景を捉える。	83.6	80.7	79.4	○
3. ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる。	98.0	90.3	90.0	◎
4. 古文における言葉の響きやリズムを楽しみながら読む。	80.9	71.7	71.1	◎
5. 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く。	84.9	79.7	76.8	◎
6. スピーチメモのよさを捉える。	76.9	67.2	69.2	◎
7. 場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す。	58.6	50.5	48.4	◎
8. 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く。	40.8	34.1	33.0	◎

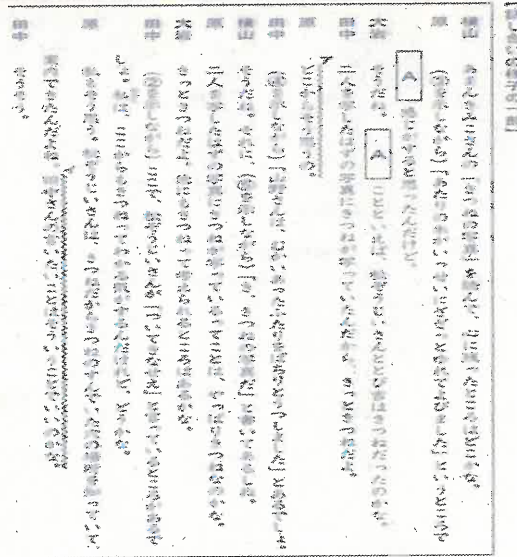
領域(国語A)	正答率	評価
話すこと・聞くこと	71.1	○
書くこと	66.4	◎
読むこと	74.1	○
伝統的な言語文化等	84.1	◎

領域(国語B)	正答率	評価
話すこと・聞くこと	71.3	◎
書くこと	59.3	◎
読むこと	48.0	△
伝統的な言語文化等		

※正答率が全国比で+5ポイント以上は◎、+5ポイント以下は○、-は△で表しています。問題の内容別では、ほとんどの内容で、素晴らしい定着状況を示しています。活用面については概ね良好ですが、まだまだ伸びる可能性があります。

豊後高田市の子どもたちの、伸ばしたいところ

1. 考えの中心となる文章の表現を明らかにしようとしている。
2. 言葉の意味を理解できず、その意味をわかっていない。
3. 今まで出ていない考えを出そうとしている。
4. 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめようとしている。



3

大分県の学校では、あまをみんごんが書いた「きつねの写真」について、読者の特徴を読み、それを考えたりしている。次年度の調査を参考にしたいです。次は「物語の二幕と話し合いの様子」です。これらをよく読んで、きつねの話し合いを考えよう。

■物語の二幕のよさを捉える

二幕目は、きつねがきつねの写真を写すまでを詳しく書いています。きつねの話し合いの様子を詳しく書いています。

【物語の二幕】のよさを捉える。あまをみんごんが書いた「きつねの写真」をよみました。

物語「きつねの写真」を読んだあとの話し合いにおける発言の意図として適切なものを選択する問題です。市 25.7%、県 26.8%、全国 28.0%の正答率から、自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図が捉えにくいといえます。本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする指導が必要です。

国語科の漢字の読み書きや知識や言語事項の定着状況は良好です。データベース等で復習し、さらなる定着を図っていただきたい。物語を読んで考えたことを発表し合い、叙述を基に自分の考えをまとめる等の活用については、各自で考えたことを共通点や相違点を明確にしながら交流する機会を設定することが必要です。また、物語を読んで感想を伝え合う場合、相手の考えの根拠を明確にするために、「どこからそう思うの」と質問したりするなど根拠を明確にすることによって、自分の考えを広げたり深めたりすることができるよう指導することが大切です。

全国学力・学習状況調査の問題は、国立教育政策研究所ホームページで公表されており、詳しい問題はそちらのホームページでご参照願います。

《調査の結果》正答率で比較しました。

豊後高田市の子どもたちのできているところ

内容	豊後高田市	大分県	全国	評価
1. 整数の乗法の計算をする。	90.1	87.8	85.2	○
2. 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をする。	82.2	70.2	66.6	◎
3. 二つの数の最小公倍数を求める。	95.4	88.8	86.2	◎
4. 立方体の面と面の位置関係を理解している。	95.4	86.6	86.7	◎
5. 口を用いて、問題場面を除法の式に表す。	90.1	83.2	83.6	◎
6. 資料を二次元表に分類整理する。	94.1	90.5	88.0	◎
7. 数を変えた場合も同じ関係が成り立つことを図に表現する。	84.9	83.1	81.8	○
8. 基準量と比較量の関係を表している図を判断する。	70.4	66.2	65.0	◎

領域(算数A)	正答率	評価
数と計算	85.3	○
量と測定	70.1	○
図形	86.8	◎
数量関係	87.9	◎

領域(算数B)	正答率	評価
数と計算	53.3	○
量と測定	48.4	○
図形	16.4	○
数量関係	42.5	○

※正答率が全国比で-は△、+5ポイント以下は○、+5ポイント以上は◎

で表しています。問題の内容別では、ほとんどの内容で、素晴らしい定着状況を示しています。活用面については概ね良好ですが、まだまだ伸びる可能性があります。

豊後高田市の子どもたちの、伸ばしたいところ

ゆりえさんは、交流会に来てくれた地域の方20人に、お礼の手紙と記念品をいっしょに封筒に入れて送ろうとしています。

1通送るのにかかる料金は、封筒の大きさや重さによって、次のように決まっています。

1通送るのにかかる料金

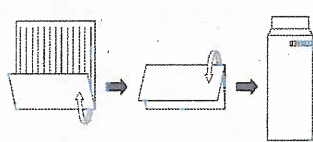
封筒の大きさ	封筒の重さ	料金
小さい封筒	25g以内	82円
	50g以内	92円
大きい封筒	50g以内	120円
	100g以内	140円
	150g以内	200円

手紙と記念品を小さい封筒に入ると、1通の重さは27gになりました。また、大きい封筒に入ると、1通の重さは36gになりました。ゆりえさんは、料金をできるだけ安くするために、小さい封筒に入れて送ることにしました。

(1) 手紙と記念品を封筒に入れて、20通送るときに料金について考えます。小さい封筒に入れて送る場合と、大きい封筒に入れて送る場合と比べて、料金が異なりますか。

求め方を言葉や式を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

小さい封筒に入れるためには、長方形の形をした手紙を3つに折る必要があります。



ゆりえさんは、手紙をなるべくきれいに3つに折るために、先生から3等分する点を見つける方法をもらいました。

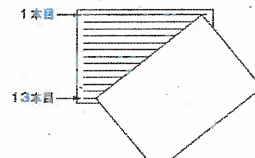
3等分する点を見つける方法

① 同じばねに並んだ4本の平行な直線の、1本目の直線と4本目の直線に手紙の長い辺の端はしをあわせる。

② 2本目、3本目の直線と手紙の長い辺が交わった点が、手紙の長い辺を3等分する点になる。

同じばねに並んだ直線を4本使うと、直線と直線の間が3つに分かれるので、3等分する点を見つけることができます。

手紙の直線には、同じばねに並んだ13本の平行な直線がひかれています。ゆりえさんは、手紙を3つに折るために、もう1枚の手紙の用紙を使おうと考えました。そして、下の図のように、1本目と13本目の直線に手紙の端はしをあわせて、3等分する点を見つけました。



(2) 13本の直線のうち、手紙の長い辺と交わった点が、その辺を3等分する点になるのは、上から何本目と何本目の直線ですか。答えを書きましょう。

《解答例》

(例)

小さいほうとうに入ると27gだから、1通送るのに82円かかります。25gを超えるから、 $82 \times 20 = 1640$ で、190円かかります。大きいほうとうに入れると36gだから、1通送るのに120円かかります。20通送るから、 $120 \times 20 = 2400$ で、2400円かかります。その差は、 $2400 - 1640 = 760$ なので、760円安くする必要があります。

560円

5 円

『料金の差を求めるために、示された資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを記述する』問題(1)については、市41.4%、県40.3%、全国40.4%、『直線数とその間の数の関係に着目して、示された方法を問題場面に適用する』問題(2)については、市27.0%、県27.0%、全国27.4%の正答率です。日常生活の問題の解決のために、必要な情報を選択して数学的に処理したり、示された方法を場面に応じて適用したりする学習を充実させることが必要です。

全体的に算数科の定着状況は良好です。身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であることや常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能の確実な定着を図っていただきたい。

また、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実施し評価・改善する力が求められます。授業の中で力を付けるとともに、データベース等のファイリングと見直しで学習内容の定着を図ることが大切です。

伸ばそう！高田っ子の学力と豊かな心

豊後高田市教育委員会 平成29年9月

この調査は、全国の子どもたち（小・中学校児童生徒）の学力や学習状況を把握・分析し、これまでの教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、教育に関する継続的な検証サイクルを確立するためのものです。また、学校における子どもたちへの教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる基礎データとするものです。



その調査の概要と結果、そして今後の方策をお知らせします。

- 《調査の概要》 ◆調査期日 平成29年4月18日（火）◆調査対象 中学校3年生
- ◆調査内容 (1) 教科に関する調査 中学校3年生 国語、算数
(2) 問題内容 主として「知識」に関する問題及び主として「活用」に関する問題
- ◆質問紙調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

豊後高田の子どもたちのすばらしいところ！（質問紙調査結果より）

質問紙調査により、豊後高田市の子どもたちは、次の項目で肯定的な回答をした割合が全国より高くすばらしいところがあります。（肯定率とは、「とてもそう思う」と「まあまあそう思う」をたし合わせた数です。）

- 37) 学校で好きな授業があります。（市肯定率92.6%、全国79.2%）
- 39) 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。（市92.6%、全国86%）
- 48) テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ます。（市93.7%、全国86.7%）
- 53) 人が困っているときは、進んで助けています。（市90.9%、全国84.4%）
- 55) 人の役に立つ人間になりたいと思います。（市97.8%、全国91.9%）

※このデータは子どものアンケート結果ですので、あくまで傾向ととらえてください。



学力や「豊かな心」を育むもの

自己認識、社会性、生活・学習習慣、好きな教科等は、学力や豊かな心の育成にも大きく関係があります。いいところを伸ばし、悪いところは改善して、健やかに育みたいと考えています。

■ 内の項目はいいところです。※斜線部は改善したいところです。

《自己認識》

- 4) ものごとを最後までやり遂げて、うれしかった事がある。
- 5) 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
- 6) 自分には、よいところがあると思う。
- 10) 将来の夢や目標を持っている。

《社会性》

- 9) 友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つようにする。
- 42) 今住んでいる地域の行事に参加している。
- 43) 地域や社会で起こっている事に関心がある。
- 45) 地域社会などでボランティア活動に参加している。

《生活・学習習慣》

- 1) 朝食を毎日食べている。
- 2・3) 毎日、同じくらいの時刻に寝る・起きる。
- 31) 家で、自分で計画を立てて勉強している。
- 32) 家で、学校の宿題をしている。
- 34) 家で、学校の授業の復習をしている。

《学習活動》

- 71・80) 国語・数学の勉強は好きです。
- 74) 読書が好きです。
- 84) 数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える。
- 33) 家で、学校の授業の予習をしている。

子どもを健やかに育むためには、子どもの自尊感情や社会性を育むことが大切です。

その上で、自分の夢を描き（目的を持ち）、夢に向かって努力する（勉強したり、練習したりする活動）ことによって自己実現（夢がかなえられる）が図られます。

また、努力するにしても、国語・数学といった教科学力、教室内で遠慮なく発言する力、伸びようとする向上心は必要であり、確実に身につけさせなければなりません。

幸いなことに、豊後高田市の子どもたちには素晴らしいところがたくさんあります。いいところを伸ばし、悪いところは改善させるようにして、自己実現の支援をしていただきたいと思います。

全国学力・学習状況調査の問題は、国立教育政策研究所ホームページで公表されており、詳しい問題はそちらのホームページをご参照願います。

《調査の結果》正答率で比較しました。

豊後高田市の子どもたちのできているところ

国語A-主として知識

問題の内容	正答率		
	豊後高田市	大分県(公立)	全国(公立)
1 目的に応じて資料を効果的に活用して話す。	88.7	89	87.9
2 書いた文章についての前置きを基に、自分の表現を見直す	86.9	85.1	84.3
3 話すための材料を人との交流を通して集める	83.4	80.3	80.4
4 読の表現の仕方について自分の考えを持つ	83.1	83.2	81.9
5 文章に表れているものの見方や考え方について、文脈を通して自分の考えを広げる。	75.4	72.7	72.3
6 文脈に即して漢字を書く。	73.1	70.1	62.6
7 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。	68.6	64.6	64.2
8 書きと行書の違いを理解する。	69.1	63	49.6
9 行書の特徴を理解する。	76	65.7	63.7

領域(国語A)	正答率	評価
話すこと・聞くこと	75.6	○
書くこと	85.3	△
読むこと	73.8	○
伝統的な言語文化等	79.3	○

国語B-主として活用

問題の内容	正答率		
	豊後高田市	大分県(公立)	全国(公立)
1 話の論理的な構成や展開などに注意して聞く。	77.1	74.4	74.2
2 相手の反応を踏まえながら、専らや専断が相手にわかりやすく伝わるように工夫して話す。	57.7	57	57.6
3 目的に応じて必要な情報を読み取る。	90	79	76.7
4 必要な情報を集めるための見出しを持つ。	72	69.2	69.8

領域(国語B)	正答率	評価
話すこと・聞くこと	73.3	○
書くこと	61.1	○
読むこと	71.0	△
伝統的な言語文化等	41.1	△

※正答率が全国比で+5ポイント以上は○、+5ポイント以下は○、-は△で表しています。問題の内容別では、ほとんどの内容で、全国平均並の定着状況といえます。活用面についても全国平均に近い力をつけていますが、まだまだ伸びる可能性があります。

豊後高田市の子どもたちの、伸ばしたいところ

相手に分かりやすいように語句を選択して話すことができかどうかをみる問題です。市49・1%、県53・5%、全国54・0%の正答率から、相手に分かりやすい語句を選択する力をつける必要があるといえます。

正答の条件は、①「小説ではない本であることを書いている。」②「□の前後の文に適切に続くように十字以内で書いている。」の二つを満たしていることです。

相手の反応を踏まえて、伝えたいことが適切に伝わったかどうかについて考え、必要に応じて分かりやすい語句を用いて言い換えたり、複数の尋ね方を試してどれが最も分かりやすいかを検討したりする学習活動が必要です。

「相手に分かりやすいように語句を選択して話すこと」が、相手の反応を踏まえて、伝えたいことが適切に伝わったかどうかをみる問題です。

7

「相手に分かりやすいように語句を選択して話すこと」が、相手の反応を踏まえて、伝えたいことが適切に伝わったかどうかをみる問題です。

「相手に分かりやすいように語句を選択して話すこと」が、相手の反応を踏まえて、伝えたいことが適切に伝わったかどうかをみる問題です。

7

「相手に分かりやすいように語句を選択して話すこと」が、相手の反応を踏まえて、伝えたいことが適切に伝わったかどうかをみる問題です。

相手にわかりやすく伝えるために、どんな情報が必要なのかを選択して話したり、書いたりすることに課題が見られます。

また、話し合いの記録として適切な言葉を(例:「再検討」「保留)」使えていません。さらに、登場人物の言動の意味を考え、素早く内容を理解していくことを苦手としています。文脈の中で、だれが、何を言い、そのためにどうなっていったかを、的確にとらえさせる必要があります。

全国学力・学習状況調査の問題は、国立教育政策研究所ホームページで公表されており、詳しい問題はそちらのホームページをご参照願います。

《調査の結果》正答率で比較しました。

豊後高田市の子どもたちのできているところ

数学A: 主として知識	正答率		
	豊後高田市	大分県	全国
1. 分数の乗法の計算ができる。	92.6	87.2	87.1
2. 見取り図に表された立方体の面上の線分の長さの関係を読み取る。	89.1	82.1	80.2
3. 錯角の位置にある角について理解している。	48.0	41.8	43.1
4. 多角形の内角の和の求め方を理解している。	76.0	67.3	69.4
5. 関数の意味を理解し、「...は...の関数である」の形で表現する。	26.9	20.2	20.6
6. 一次関数のグラフを $y=ax+b$ の形で表すことができる。	82.3	73.2	75.9
7. 二元一次方程式が表すグラフを選ぶことができる。	70.3	62.9	63.0

領域(数学A)	正答率	評価
数と式	71.1	○
図形	65.0	△
関数	60.3	○
資料の活用	61.9	○

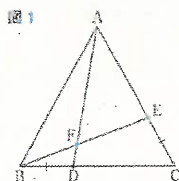
数学B: 主として活用	正答率		
	豊後高田市	大分県	全国
1. 隣り合う4枚の正三角形の真ん中の1枚をある模様としたときに、隣の3枚にできる模様を選ぶ。	71.4	68.6	67.5
2. 六角形を5個つくるのに必要なストローの本数を求める。	86.3	81.9	80.4
3. 点Dと点Eを $BD=CE$ の関係を保ったまま動かしたとき、 $\angle BFD$ の大きさについて、正しい記述を選ぶ。	48.6	45.4	44.5

領域(数学B)	正答率	評価
数と式	48.4	○
図形	43.0	△
関数	43.6	△
資料の活用	46.5	△

※正答率が全国比で+5ポイント以上は◎、+5ポイント以下は○、-は△で表しています。問題の内容別では、ほとんどの内容で、全国平均並の定着状況といえます。活用面についても全国平均に近い力をつけていますが、まだまだ伸びる可能性があります。

豊後高田市の子どもたちの、伸ばしたいところ

4. Fの図1のように、正三角形ABCの辺BC、CA上に $BD=CE$ となる点D、Eをそれぞれとります。また、線分ADと線分BEの交点をFとします。ただし、点Dは点B、Cと、点Eは点C、Aと重ならないものとします。



次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

- (1) 図1において $\triangle ABD \cong \triangle BCE$ を示し、それをもとにして、 $\angle BAD = \angle CBE$ であることが証明できます。この証明を完成しなさい。

証明

$\triangle ABD$ と $\triangle BCE$ において、

合同な図形の対応する角は等しいから、
 $\angle BAD = \angle CBE$

(正答の条件)

次の(a), (b), (c), (d)とそれぞれの根拠を記述し、証明しているもの。なお、ここで根拠として求める記述は、正答例に記述されている程度のものとする。

(正答例)

仮定より、
 $BD = CE$ ①
 正三角形の辺はすべて等しいから、
 $AB = BC$ ②
 正三角形の角はすべて等しいから、
 $\angle ABD = \angle BCE$ ③
 ①, ②, ③より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから、
 $\triangle ABD \cong \triangle BCE$

学習指導に当たって、事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考え、証明することができるようにしなければなりません。結論を導くには何がわかればよいか明らかにしたり、与えられた条件を整理したり、着目すべき性質や関係を見いだしたりする活動を取り入れることが必要です。

活用する力を生徒につけるために、数学的な表現を用いて説明し、伝え合う活動を重視した授業の充実に取り組む必要があります。「予想した事柄や事実を数学的な表現を用いて説明する授業」「問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明する授業」「事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明する授業」において、説明に必要な要素を明確にして説明し、伝え合う活動ができるよう指導する必要があります。

5. 平成29年度 小学校・中学校共通 豊後高田市の学力向上に関する改善策



～持続可能な豊後高田市の教育をめざして～ 豊後高田市教育委員会

(1) 考える時間と発言する場を意図的・効果的に設定しましょう。

大分県学力定着状況調査質問紙の集計結果から、本市の子どもたち（小・中学生）は、「自分にはいいところがある」「授業中に積極的に発言する」と自覚している姿が見られました。

これは、各教室で、一人一人に目を向け、よさを認めることを意識していること、授業中に自分の考えを隠せず発言できる環境づくり（授業形態の工夫）等に努めていることの成果と考えられます。

今後も、生徒指導の3機能を活かし、1人で考える、2人以上で意見交流する活動を意図的・効果的に設定するとともに、協調学習など問題解決的な学習を進め、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善を行いましょ。そして、「**持続可能な豊後高田市の教育**」を確立していきましょう。



意見交流の場

(2) 1時間、1時間の授業における自己の成長を実感させましょう。

子どもたちは、1時間1時間の授業の中で新たな知識・技能を得たり、見方・考え方を広げたりしています。けれども、その成長を自覚していないことが多いのです。自分の成長を自覚すると、達成感や満足感が得られ、もっと知りたい、頑張りたいという意欲が生まれます。授業や単元の最後に、子どもたち自身が自分の学びを振り返り、成長する機会を設けましょう。

そのためには、1時間の授業で身に付けさせたいこと（付けたい力）を明確にし、「めあて」と「振り返り」、「課題」と「まとめ」のある授業を展開することが大切です。めあてや課題が明確であれば、学ぶ子どもたちと目指すゴールを共有することができます。「新大分スタンダードによるワンランク上の授業」をもとに

「豊後高田方式の本時案（記入のポイント）」を活用してください。

今日は、速度の求め方が分かったネ！



(3) いいところを認めましょう。見つけましょう。

生徒指導の3機能には①児童生徒に自己存在感を与えること。②共感的人間関係を育成すること。

③自己決定の場を与え自己の可能性の開発を援助することの3つがあります。

授業者がこの視点をもつことは、子どもの学びに向かう力を高めます。常に意識をして、授業を進めていきましょう。

(4) 難しい内容でも分かりやすく教えるのがプロ教師の力。

子ども一人一人の分かり方は多様です。一斉指導で同じことを説明しても、分かるスピードも分かり方も違います。子どもたち全員の「できた」「分かった」を実現する教材・教具等を工夫していきましょう。

特に、**ユニバーサルデザイン**の視点を取り入れ、前面掲示の情報量の調整、視覚的な提示、活動の手順の明示、教示の工夫などを心がけましょう。

(5) テストやプリント類のファイリングと見直し

週末課題のプリントやテスト、ドリルをしても、答え合わせをして返却したらリセットしがちですが、覚えておかなければならない用語や考え方は何度も何度も復習することによって、さらに定着します。そして、確実なものになります。

幸いにも、本市の子どもたちは、家庭学習をきちんとしますし、授業の予習・復習を積極的にしています。

実施したテストやプリント類、豊後高田市内のすべての学校に導入されている教科ごとのデータベース等を何度も何度も繰り返し、見直しさせましょう。

プリント1枚に掲載されているデータベースや練習問題の量は限られていますが、ファイリングしてありますと学習内容を網羅する参考書ができます。

そこで、印刷したすべてのデータベース、テストプリント、ドリル、工夫したノート、学びの21世紀塾のプリント、フォローアップワークシート、夏休み学習のプリントなどを有効に活用しましょう。一過性のものでしないで、間違ったテスト類をもっと活用しましょう。

また、5生用（中2）のフォローアップワークシートは4年生（中1）までに学習した内容ですので、4年生（中1）も段階的に解くことができます。教育課程に位置づけましょう。



これまでの成果

学年	教科	指導者
単元名OR題材名		
題目	時数	/
本時のねらい	<p>「C目的（身に付けさせたい力など）」と「B手立て（中心となる学習活動）」を明らかにして設定する</p> <p>A 学習内容（～を、～について） B 学習活動（〇〇を通して、〇〇でまとめて、〇〇と比べて等） C 育成する資質・能力・関心態度（△△できるようにする、△△に気付かせる、△△を高める等）</p> <p>B: ・比較する ・関連付ける ・分類する ・要約する ・理由つける ・具体化する ・推測する ・見通す ・試行する ・構造化するなど</p> <p>※本時で子どもたちが使う中心となる思考の型</p>	
学習指導要領における領域・内容	学習指導要領のどの事項かを記号等で明記 → 付けたい力の明確化	
本時の評価規準	だれが見ても評価できる（BとCの区別ができる） 本時のゴールの姿を具体的に	
展開	学習活動	指導の手立て
【めあて】	<p>【めあて】:「ねらい」を児童の立場で示したもの。「活動のゴールの姿」や「ゴールとそれまでの道筋」を示す。 ※学習の見通しがもてる、意欲を高めるものになるよう工夫。</p> <p>〇できるようになることは何？ 〇期待する発言内容は？ 〇期待する記述内容は？</p>	
<課題>	<p>【課題】【その時間に解決すべき事柄】 「なぜ、～なのか」「～することはできるのだろうか」「どうしたら～できるか」など疑問形で示す。</p> <p>【課題設定のポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 既習事項や既有事項とのズレがある。 ② 意見の対立・拮抗が生ずる。 ③ 目標達成のために超えなければならないハードルがある。 ④ 素朴な驚きや疑問、憧れから問題意識が招請される等の要素があるもの <p>授業中に行える C の状況にある児童生徒への指導支援の手立てを考える。 ※特別支援教育の視点から習熟の程度を把握し、(授業後)改善策を検討</p>	
導入	<p>〇教科の特性・単元の展開・本時のねらい等に応じて、「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を適切に設定する。 〇「付けたい力」を付けるために必要な活動を設定する！ 〇「型」ありきではない！ 〇「めあて」「振り返り」は ・学習者が見通しを持ち、学習の成果を実感するためのもの ・授業者が、付けたい力を明確にして、学習者全員に力を付けるためのもの ・授業者が学習者による振り返りをもとに、授業改善へつなぐもの。</p>	
展開	<p>本時の課題に対する【答え・結論】</p>	
<まとめ>	<p>視点を設定【ノートに書く、ペアで伝え合う等やり方を工夫し 毎時間行う】 学習者自身が学びの成果を実感し、意欲や問題意識等を次につなげていく。 ※わかったこと、分からなかったこと、新たな疑問 等 ※本時のキーワードや学習用語を用いる等の条件設定をする等の工夫をする。</p>	
【振り返り】	終末	